科目コード	記号	科　目　名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
2010	MEBG04	現代社会：Present-Society	1MEB	2・90分	必修	講義・通年	履修単位
教員名		山下祐志：YAMASHITA Yuji					

授業概要

本講義は，高専5年間で学習する社会科諸科目の導入的な役割を担っている。したがって，教科書の内容に制約されずに，広く自由な観点から現代社会の諸相を多面的にとらえ，社会科学一般の基本的な考え方やセンスを身につけてもらえるように工夫したいと思う。

到達目標	評価方法
(1) 社会科の基礎的な知識として，例えば日本の県名や都市名，半島名が正しく書けること。 (2) 環境問題や時事問題に関心を持つことができ，これらに関する新聞記事などの論調を概ね理解できること。	評価方法は，①中間試験，②期末試験，③小テストの成績を総合評価する。評価配分は，①35%，②35%，③30%とする。

学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(1)	

授業計画

前期 回	項目	内容	後期 回	項目	内容
第1	導入授業	シラバスの説明と，現代社会の勉強の仕方について，　中学校の復習問題を採り入れながら解説する。	第16	青年と自己実現	青年期の特質を解説する。
第2	現代社会の特質と私たちの生活	現代社会の特質について，大衆化，少子化，高齢化，　情報化，国際化，等のキーワードから考える。	第17	青年と自己実現	青年期の発達課題について考える。
第3	現代社会の特質と私たちの生活	同　上	第18	青年と自己実現	同　上
第4	現代社会の特質と私たちの生活	同　上	第19	青年と自己実現	同　上
第5	現代に生きる私たちの課題	地球環境問題や豊かさの中身について考える。	第20	地図帳学習	地図帳を利用しながら，基礎的な教養をチェックする。
第6	現代に生きる私たちの課題	同　上	第21	地図帳学習	同　上
第7	中間まとめ	前期の中間まとめとして試験を実施する。	第22	中間まとめ	後期の中間まとめとして試験を実施する。
第8	現代の経済生活と経済活動	資本主義経済と社会主義経済の特質を解説する。	第23	国際社会と日本の役割	冷戦構造と勢力均衡政策について解説する。
第9	現代の経済生活と経済活動	技術革新と産業構造の変化について学習する。	第24	国際社会と日本の役割	核兵器と軍縮問題について考える。
第10	現代の経済生活と経済活動	企業の役割と社会的責任について考える。	第25	国際社会と日本の役割	自由貿易と保護貿易，貿易摩擦について考える。
第11	現代の経済生活と経済活動	金融政策について学習する。	第26	国際社会と日本の役割	国際連合の役割と課題について考える。
第12	現代の経済生活と経済活動	租税と財政政策について学習する。	第27	国際社会と日本の役割	南北問題，南南問題について考える。
第13	現代の経済生活と経済活動	労働問題，消費者問題について学習する。	第28	国際社会と日本の役割	国家の三要素と領土問題について解説する。
第14	予備	前期の学習内容について，補足説明を行う。	第29	予備	後期の学習内容について，補足説明を行う。
第15	まとめ	前期のまとめ	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また，授業評価アンケートを行う。

関連科目	本校で学ぶ社会科関連科目の導入科目として位置づけている。
教科書	藤田英典他『現代社会』(清水書院)
参考書	帝国書院編集部『標準高等地図(初訂版)』(帝国書院)
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備考	基礎的な学力を身につけるために，小テストを繰り返す。